

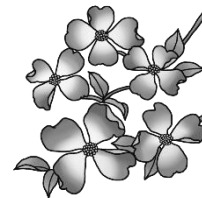
REED-A  
2023 4月号

# リード・エー通信

[master@reed-a.org](mailto:master@reed-a.org)

NO.476 編集発行  
(社福)リード・エー事務局  
03-3857-8839  
<https://www.reed-a.org>

## ～新たなつながりを～



コロナウィルス感染が落ち着き、様々な行事も復活してきました。以前のような日常生活が少しずつ戻ってくるのは、うれしいことです。

さて、今 国は「異次元の少子化対策」として財源をどうするかという話が進んでいますが・・・でも防衛費は即決で増額されたのに、少子化対策は「やる！やる！」と言いつつ、内容も財源もさっぱり見えてこないのはなぜなのでしょう？ 異次元だから現実社会では考えられないのか？と皮肉を言いたくもなりますが・・・少子化の問題は手当だけの問題でしょうか？ もちろんそれも大切なことではありますが、出産前から母親への心身のケアから始まって、出産後は母子へのケア、子供の保育、母をはじめとした家族の働き方の問題、非正規雇用や格差の問題から貧困、家庭や学校に居場所を見つけれない子供たち、数えきれないほどの不安や困難が考えられる中で、子供を育てていくことに二の足を踏んでしまうのではないのでしょうか？ 子供の貧困・ヤングケアラーなど今まで表面化しなかったことが「〇〇問題」として数多く社会の中で取り上げられ、それぞれに取り組む個人や団体が活動してくださることで、助けられる人が増え、改善されてきてはいます。問題に取り組むには一つずつできることから…そして多くの理解を得るためにもこういった表現は致し方がないのでしょう。しかし、「〇〇問題」とまとめてしまうことに違和感もあります。人が生きていく中での様々な困難はあらゆるところでつながっていて、根底にある私たちの考え方（意識）や社会制度そのものをとらえていかないと、根本的な改善にはならないと考えます。

その為にはどうすればよいのか？ 答えがすぐに見つかるはずもないのですが、昨年高齢化するご本人と家族に対し「家族支援の視点に立って」高齢福祉に関わるもの、障がい福祉に関わるものと行政のしっかりした連携体制を構築すべきと書きました。それもまだまだできていない現状ですが、少しずつですが糸口が見えてきています。そして私たちは組織として、支援者としてより多くのネットワーク、頑丈な太い1本のパイプもよいのですが、細い糸でよいのでたくさんの糸を張り巡らして様々な人や組織とつながっておくことが必要だとつくづく思います。何かについて考えるとき、そうだあの人に聞いてみよう！と思える存在があることはとても心強く、前向きな気持ちになれますよね。その細い糸を手繰って違う角度からの意見や手立ての在りようを聞くことができる、もしくは、自分たちではできないことを他へお願いする糸口が見つかるのではないのでしょうか？そして、私たちが障害のある方々を支援するうえでも、日常的に様々な人に「相談する」「お願いする・される」ことで、より良い支援へつながっていくと思います。さらに、「自己責任」論が広がって以降、非常に辛い状況や困難な状況にある時、そのつらさや困難さを人に伝えることが難しくなっていました。ましてや身近な人にこそ伝えられない事も多々あるのも事実です。そんな時薄い繋がりの方がほうが、話しやすいこともあります。私たちは率先して相談できる、人に頼る、頼られる環境を作り、困難を抱えた方々が、相談する・人に頼るという事のハードルを下げたいと思います。また、「〇〇問題」もつながって一緒に考えていけるようになると、社会の在りようも変われると信じます。人は社会の中で人とつながることで生きていけるのですから。(池田)

## 作業所日記

中江 聡

年度末となる三月もさまざまな内職を行いました。今月号で紹介するのは、検尿キットの封入作業です。今回行った物は、スピッツにシールを貼ったり、封入する資材がいつもより多かったです。その為、全ての工程を終えるのにたくさんのメンバーの力を借りました。まずは、スピッツのシール貼りです。これは、内藤さん、幸坂さん、毛利さん、花田さんが行ってくれました。特に内藤さんは、シールを貼る作業が好きなので、いつにも増して楽しそうに作業をしていました。次は採尿カップを折り畳む作業です。カップ状になっている物を折線の通りに折り、畳んでいきます。これは、松村さん、水越さん、遼さん、池田さんが行ってくれました。細かい作業で、数もたくさんありましたが、皆さん失敗する事なく、段ボールがいくつもいっぱいになるくらいたくさんの量を行ってくれました。次は小さな袋に説明書を入れる作業です。これは秀島さん、古矢さん、花房さんが行っ



くれました。秀島さんは、素早く何百枚もの紙入れを行ってくれて、古矢さんはとても丁寧に正確に作業を行ってくれました。袋に説明書が入ったら次は、先程お伝えしたカップとスピッツを入れていきます。これは、宮島さん、大塚さん、明久さん、鄭さんが行ってくれました。大塚さんもこの作業が好きなので「僕、検尿です」「次はスピッツね〜」等と言いながら、積極的に作業を行ってくれました。袋の中に必要な資材が全て入ると、袋をとじて行きます。これは、海斗さん、今井さん、安部さんが行

ってくれました。袋を押し潰しながら、中の空気を抜いてとじていきます。三人とも袋の中の資材がきちんと揃っているか、紙が破れたり折れたりしていないか、確認をしながら袋の口をとじてくれました。いつもの検尿作業なら、ここで終わりますが、今回はこの後、もうひと工程続きます。これまでに出来上がった検尿キットともうひとつ別の資材をさらに大きい袋に入れて、これも口をとじて行きます。この最終工程を本多さん、白井さん、増田さんが行ってくれました。ここでも皆さんは、入れる向きや表裏を間違えないように気をつけたり、しっかりと袋の口を閉じたりしてくれました。ここまでの工程を終えるとやっと完成します。工程も多いですが、その総数も多く、皆さん慣れている検尿作業ですが、すべて終えるまでに何日もかかりました。それでも作業が全て終わられたのもメンバーの皆さんのおかげです。4月からは、どんな作業が待っているのでしょうか！？引き続き、頑張りましょう～！



# あしの家だより



【西新井ホーム】

本間 敬子

3月1日関東では昨年より4日早く春一番が吹き、3月14日には予定より早く桜が開花しました。トレーナーを脱ぎ、ジャンパーも薄手の物に変え春の装いになり過ごしやすい季節になりました。花粉症の人にはとても辛い時期ですがこの時期でしか見られない桜の花を堪能したいですね！

～2月より新しい世話人が増えましたので自己紹介をさせていただきます～

はじめまして、こんにちは。2月1日よりあしの家西新井ホームに世話人として働くことになりました石橋光代と申します。足立区生まれ、足立区育ちの御年・・・(個人情報のためご想像にお任せします) 趣味は特にありません。動物が大好きで、今はヘルメットのようなヘヤースタイルの真っ白犬ビジョンフリーゼの女の子モコちゃんとお過ごす時間が心の安らぎとなっています。これまでのお仕事は、事務職30年余り、ご高齢者の方の介護を施設や訪問で4年ほど経験してきましたが、ある日あしの家に貼ってあるキラキラ☆輝く“世話人募集”を見つけ、その貼紙に目が引き付けられビビッと何かを感じ、気が付いたら面接希望の電話を掛けていました。約ひと月が経ちましたが、先輩スタッフの方々に支えて頂きながらお仕事を繰り返す毎日で、新しい発見に驚いたり失敗したりと日々精進の連続です。まだまだ若葉マーク🍃の私ですが初心を忘れず努力して参ります。ホームのメンバーの皆様何卒宜しくお願い致します。



季節の変わり目で体調を崩しやすいので、油断せず健康管理に気を付けて行きたいと思います。

【西伊興ホーム】

石井 理恵

だんだんと暖かい季節になり、桜も開花し薄着で外出が出来るようになって来ました。昼間は暑く汗ばむくらいで、夜は冷え込むといった寒暖差で風邪をひかないよう服装を各自で気を配っています。

田沢さん増田さんは、作業所から一緒に帰って来る事が多くホームに到着すると姉妹のように笑いながら仲良く会話をしています。増田さんは、花粉が飛び始めて花粉症用のメガネをかけ防止対策をしています。安部さんは、25日(土)作業所で月1回のスポーツ教室に参加しているメンバーさんと一緒に味の素スタジアムに行き、サッカー観戦をしてサッカー選手に会って来たー！と楽しそうに報告をしてくれました。



花田さん松本さんは、いつも笑顔で挨拶をしています。ショートステイを利用されている、幸坂さん、藤巻さんはテレビを見て笑っていたりゲームをしたりして楽しく過ごされていました。

落ち着いているとはいえ、コロナや風邪の感染予防には気を配って、楽しい春を過ごしたいと思います。

## カルチャー教室 今後の予定

さをり	4月 8日・22日	5月20日・27日
陶芸	4月 8日・22日	5月13日・27日
習字	4月12日・26日	水彩画 4月14日・28日

## 畑日記

秋葉 健太

前回の私の書いた記事ではロウバイについて触れた記憶がありますが、今回は黄色い花つながりで菜の花について少し触れたいと思います。私の地元の江戸川の土手沿いでは、この時期になると菜の花が一面咲き誇る道があるので、菜の花は今の仕事をする前からなんとなく自分の近くにいた



存在な気がします。先日も浜離宮で菜の花と梅を楽しんできたのですが、この時期の黄色って綺麗だなと思いました。寒い冬を超えた後の春の花は大体綺麗だとは思いますが、春の暖かい陽ざしの下での黄色ってなんだか特別な気がします。三原色の一つだからですかね。あくまで個人的感想ですが。

今月頭には江東区の新幸荘のお仕事がありました。ここでの仕事もう3年くらいになりますね。前は10月の作業で通信でも11月号で触れました。幸い前回植えた植物は概ね元気に成長している様子で一安心。さらに植え込みの面積を広げようと今回は意気込んでいきましたが、多少予想はしていたものの実際目の当たりにするとこれ終わるかしろと思えるほどの雑草の量。そういえば去年の今頃はコロナの第6波で作業していなかったなと。植え込み面積は葦の会史上一番の場所なので、雑草抜きの範囲も相当なもの。そして植物が植えられている場所はそれを避けて雑草を抜かなければならない、ということで難易度も上がっています。こりゃあ大変なことになったぞと思いましたが、行動しなければ雑草は減らない。そういう中で黙々と手を動かしてくれる、いつも新幸荘に同行してくれるメンバーの方々は得難いなと思いました（大体固定で越前屋さん、久保さん、遼さん、増田さん、大久保さん、松本さん、桑原さんですね）。

そして今ハウスの中はペチュニアやマリーゴールド、ジニアなどの花で一杯になっており、種まきや挿し芽もどんどん行っています。基本種まきは用土を入れた箱にまく時は職員が行うのですが、ポット内に1~2粒ずつまく時などはメンバーの誰かと一緒にやったりします。今までは大体花田さんとか安部さんだったのですが、今回は奥さんや秀島さんで行いました。奥さんはバタフライピーで秀島さんはゴーヤとササゲ。種をまいた翌日には「いつ頃芽が出るかな～」と奥さんが楽しそうに声をかけてくれました。私も初めて育てるので楽しみです。秀島さんは慣れない手つきながらも丁寧に植えてくれました。長年一緒に仕事をしていると、お願いする内容も固定化しがちなので、なるべく違ったものに挑戦できるようにしていきたいですね。



### < 花売り情報 >

4月 1日(土)・ 2日(日) 舎人公園桜まつり

4月 6日(木)・18日(火)・26日(水) 竹ノ塚センター

4月 8日(土)・ 9日(日) 都市農業公園 春の花まつり

4月12日(水) ビッグ・エー花畑店

4月13日(木) ベルクス南花畑店

4月19日(水) ビッグ・エー南花畑店

4月20日(木) ベルクス古千谷店

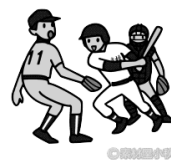
# 奥君日記より (2023年 3月)



- 1日 早いもので、令和5年3月に入った。今日の畑は、良い天気畑日和だった感じ。仕事の能率も良いはずなのだが、お話が多くて何時もより植え替えが遅い俺が居た。午前は越前屋さんと午後は本多さんと、マリーゴールドのポット上げをやる。藤牧君は、眼が真っ赤でクシャミばかりしていた。俺も似たような症状だ。今日だけでマスクを3枚使った。
- 2日 畑では本多さんと俺でマリーゴールド・ジニアのポット上げをやる。俺達はハウス内での作業なのだが、水越君は俺達と比べて何も喋らなければ植え替えも上手にできる人なのだが。でも俺達A班は、水越君が居ないと何かと駄目なのかもしれない。この頃、思う事だ。
- 7日 今日は久々に「いきいき水彩」があった、そこには何となく小さくなったような大川先生が立っていた。何で休みだったのか聞く人は居なく今日の絵は「カラー」という花を書く、色を塗る前までは上手な俺。松本君が上手だったかも。でも大川先生が元気だったのが嬉しい。
- 8日 午後よりスポーツセンターへ体を動かすに行く。村田さんの代わりに秀島さんが行った。最後にやったのはサッカーで本人も楽しそうにやって居たのが印象的だ。
- 10日 今日の午前は、昨日の続きの内職を3階でやった。そして今日は陶芸教室があり本日はコップを作る。午後より、新しい内職を高島さんに教えてもらった。花粉症の俺は目が痒く、そして眩しい感じだ。あまりにもクシャミがひどいので、寝る時はマスクをして寝ているこの頃の俺が、野球を見ている。嬉しい事は、池田さんより25日のサッカー観戦について話があった事。お弁当は、味の素スタジアムに着いてから食べることに決まった事。
- 11日 今日は作業所の春一日だけの花セールがあった。曇り空だったがポスティングが効いたのか、沢山の人が来てくれた今日だ。今日思った事は、仁君はチェーンの内職をやっていた。とても上手だった。



- 13日 今日は遅刻をしてしまった。こここのところ、大丈夫だと思っていたのだが気を許したかも？朝のトランポリンは、同じ班の松本君が行けなかったのは残念かも？トランポリンの大会に出て、賞状とメダルを貰って来た水越君だ。6位入賞だそうだ！
- 16日 さて今日は内堀さんとの花売りだった。俺は内堀さんよりも声が出ていないと思った。「まるでお客みたいだ」花粉症になって目が痒く眩しささえ感じる、いつも目薬を持ち歩いている俺が居た。マーガレットの葉を取り除く時、少し慣れたのか売り子の顔になった。そして、そのマーガレットはお客さんに買われていった。良かったと思う。微笑ましい光景を見た、まだ小さい子供と親で本当に素直そうに会話をしていたのが印象的だ。



- 19日 今日はお墓参りに行く。兄と今ケンカ中なので、一人で行く墓参りだ。つまらない事でケンカになった、俺と兄だ。
- 20日 今日は家より作業所に来た。家からだ時間がギリギリになってきたこの頃だ。今週より畑班で、以前から欲しかった木と言うか綺麗な色の葉の植物を買ったが、只今ケンカ中のため、重い植木はバスと電車で揺られて俺と帰った。本当に重かった。その植木は、今玄関の前に大事に置かれている。3年くらい前に買った「シクラメン」はこれもまた丈夫でどんどんと花を咲かせている。薄いピンクだ。

- 21日 今日は部屋の片づけをして衣替え、冬から夏だ。ずっとやらなくてはいけない、と思いつつ今日にいたった感じだ。それにしても、沢山ある冬物衣料だった。殆どの時間をつかった様だ。野球は「村上のヒットでメキシコにサヨナラ勝ち」明日の決勝は「アメリカ対日本だ」

お待たせしました！！



法人主催

# 【潮干狩り】のお知らせ

日時 5月 7日(日)

場所 木更津 江川海岸



- 予定 8:20 葦の会作業所集合 8:30 作業所出発  
8:40 江北駅集合(舎人ライナー江北駅) 8:45 江北駅出  
14:40 江北駅着  
15:00 葦の会作業所着・解散

少雨なら 行きます！

※昼食は潮干狩り後、「海ほたる」で自分が好きな物を食べましょう！！

【参加費 3,500円】熊手と採った貝を入れる袋のない方はプラス200円  
お申し込みの際に熊手・袋の有無をお知らせください。

申し込み 葦の会作業所 03-3857-8839 (池田) まで  
(準備の都合上、4月26日(水)までにお申し込みください)

お申込みいただいた方には、詳しい「しおり」をお渡しします。  
皆様のご参加をお待ちしています！！



## 編集後記

例年よりかなり早く開花した桜は、開花以降の低温で思った以上に長い間私たちを楽しませてくれました。今は八重桜やハナミズキが咲き、つつじも少しずつ咲き始めました。お花が咲いてくるとうれしくなりますね。さて今回は今まだ上映されている「丘の上の本屋さん」というイタリア映画をご紹介します。とても美しい村の丘の上でリベロ(自由という意味)という名の古書店主が、本屋の前で本をじっと見ているがお金がなくて買えないという少年「エンシン」に次々と本を貸し、感想を語り合う中で少年と心を通わせ、本のすばらしさそして「幸せになる権利」を伝えていきます。死を覚悟したリベロが最後に少年に貸すのではなく「きっと君の役に立つ」からあげるよ…と渡した本が…(ネタバレになるのでこれは観てのお楽しみ)リベロがエンシンに貸す本の題名を見ると懐かしさがこみ上げてきます。昔読んだなあ、子供にも読んであげたなあというもの、読んだけどんなストーリーだったかなあ？というものも…。この映画はとても美しい映像と本に対する愛とリベロの思いがあらわれていて、観た後で心がふんわりと広がった様な気持ちになりました。本は読む人によって感想は様々でよいし、本を読むことで知識を得、それが自分を守ることにもなると思います。本を読むことで自分の知らない世界や出来事、人の想いを知ることができます。その世界に自分を連れていってくれます。これは映画も同じかな？私もいろいろ本を読みますが、読んだ本の内容をすべて覚えているわけではありません。(買ってきて読み始めてから、あれ？この本読んだことあるわ〜と気づく事も(-\_-))でも、その世界観や想い、その時感じた自分の思いは少しずつ自分の中に積み重なっていると感ずります。また、専門的な知識を得るための本も読みますが、内容を全て理解し、覚えておくなんてことは私にはできません。学生時代の先輩が「何か困った時に「これについては、あの本のあのあたりに書いてあったぞ！」と思い出しその時に読み返せばよい！」と言っていたことを今も守って？います。(^^) / 本屋に行くことが少なくなり、夜中に「ポチッ」として、どんどん積読が増えていますが、まあゆっくり読んでいきます。腐るものじゃないし、今は外に出たい！まずは潮干狩りです(-\_-)☆(池田)